

栃木県生協連・2011年度6月定例報告

2011年6月16日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 5月活動日誌

5月7日	土	いわき市小名浜にボランティア
5月9日	月	県連福祉事業委世話人会
5月10日	火	県連常務理事会、労生協理事会
5月11日	水	県連職域部会
5月12日	木	働く人の相談センター総会、食の安全ネットワーク全体会
5月13日	金	中央地連大災協
5月16日	月	いわき市小名浜にボランティア派遣、県地産池消実行委員会
5月17日	火	栃木放送番組審議会
5月19日	木	県連理事会
5月20日	金	消費者月間街頭啓発のチラシ配布、とちぎ未来クラブ総会
5月21日	土	いわき市小名浜にボランティア派遣
5月23日	月	とちぎ元気な森づくり県民会議
5月24日	火	県連役員推薦委員会
5月25日	水	小山市評定懇談会、宇都宮大学生協総代会
5月26日	木	県消費者のつどい
5月27日	金	労福協総会、福祉センター総会、労生協総代会
5月28日	土	協同組合学会春季大会
5月30日	月	足工大生協総代会

東日本大震災を受けてまとめは概況とします。この間の震災対応は20報を参照ください。

(2) 4月活動の概況

(東日本大震災への対応)

1. 栃木県連としての対応

5月から栃木県連独自企画でのボランティア派遣を行うこととした。多くの方が参加いただけるよう支援先を検討し、いわき市小名浜ボランティアセンターに継続派遣することとした。5月21日から毎週土曜日に、当面4回実施することとした。3会員（とちぎコープ、よつ葉生協、ふれあいコープ）の協力を得て、分担日を決め事務局の役割もお願いした。

岩手県や宮城県と被災規模は違うもののいわき市も、被災された地域や被災者の方の状況は変わらず家屋の倒壊や損壊、建物内の土砂やがれきなど、大変厳しい環境の中におかれている。ガレキの除去や土砂で汚れた什器の清掃や、農地や側溝の泥だしなど、要請に沿ったボランティア活動が行われている。

第1段として、5月21日3会員（県職生協、事業団、ふれあいコープ、県連）4名で参加した。5月28日は、雨天の為中止とした。

2. 日本生協連としての対応

東北3県の被災生協（いわて生協、みやぎ生協、コープふくしま）への業務支援が全国の生協から行われて来た。第2段としては、ボランティア派遣が始まり大槌町とその周辺の避難所への引っ越し派遣、ボランティアセンターでのスタッフとしての長期支援、第3段としては、3県の被災6生協へのおさそい支援が計画されている。

全国の生協からの募金は、第1次集約分で約4億円弱となり、栃木県のとちまる募金金に対しては、334万円を5月10日に日生協より送金いただいた。

6月17日の日本生協連総会では、3号議案を東日本大震災関連議案として立て、これまでの取り組み報告と今後の対応について、確認される予定。被災生協へのお見舞金として6億円を目標に会員に協力を呼びかける予定。

（食の安全課題の関連）

5月12日食の安全ネットワーク全体会では、学習として「東日本大震災への対応」について3事業者と生産者組織の方々に報告をいただいた。フタバ食品（株）、東武宇都宮百貨店、荒井食品、JA栃木中央会から発災から取り組まれている内容を報告いただいた。それぞれ地震発災とお客様への対応、安否確認など従業員への対応、停電への対応、通信手段の問題、流通の問題、放射性物質の問題など実際の中で起こってきたことの事例として、貴重な経験報告をいただくことができた。

（消費者課題の関連）

5月は消費者月間として国でも位置づけられ、県でも啓発や普及の取り組みが行われた。5月20日朝7時半から栃木県、宇都宮市、消費者ネットワークと栃木県生協連では、JR宇都宮駅頭での街頭チラシ配布の活動に参加した。ネットワークと生協連で、杉原代表、竹内会長を含め9名が参加され、県くらし安全安心課や宇都宮市の方含め24名の規模での取り組みとなった。

26日は消費者のつどいで、消費生活功労で富士重工生協の木目沢専務が個人の部で知事表彰を受賞（県連速報NO153参照）された。国民生活センターの野々山理事長の講演と寸劇が行われた。生協連としても多くの皆さんが参加をされた。

（2012年国際協同組合年）

JAとの関係では、国際協同組合年に向けた事務局打ち合わせを行った。5月28日協同組合学会春季大会が東京で開催され、国際協同組合年に向け5人の研究者の報告がされた。福島大学の先生からは、県内の被災と原発の影響と協同組合間連携で対応している取り組み報告がされ、厳しい状況にあってJAや生協など協同組合が役割を果たしていることがわかった。栃木県内から生協4名、宇都宮大学関係者1名の5名が参加した。県連としては、会員の中堅職員の方々に参加いただき、プレ企画を具体化していくことが19日の理事会でも確認された。

（県及び他団体との協働）

行政関係の県民運動として取り組まれている地産地消、子ども未来クラブ、元気な森づくりなどの総会が開催され、竹内会長がそれぞれ参加した。

(3) 6～8月の課題

1. 6～8月部会・委員会活動の推進
2. 6～8月ネットワーク活動（食の安全ネット全体会、消費者ネット全体会）推進
3. 第42回通常総会議案書案の確認
4. 第42回通常総会の成功
5. とちぎの農業応援と協同組合間連携
6. 震災被災地へのボランティア派遣

(4) 今後の予定

1. 7月15日（金）とちぎ食の安全ネットワーク・全体会と学習会
（学習会の内容予定）
 - ・ 7月15日（金）14時半から1時間程度、とちぎアグリプラザ
 - ・ テーマ「食肉の衛生管理について」、
 - ・ 講師・県保健福祉部生活衛生課 食品衛生担当 石網 祐美子氏
2. 9月5日（月）栃木県連くらし部会拡大学習会
（学習会の内容予定）
 - ・ 9月5日（月）10時～12時、とちぎ福祉プラザ・第2研修室で
 - ・ 仮題「協同組合原則と国際協同組合年」
 - ・ 講師・公益財団法人 生協総合研究所 理事 栗本 昭氏